

# みの～れってやっぱりすごい！



おやこ・マタニティコンサート実行委員  
「見つける・みかく・光りを当てる」芸術展メンバー  
～小美玉に光を集めよう～  
う つ の え み  
**宇津野 絵美** さん

「自分と同じ世代の人がいるので楽しいです」  
と笑顔で話す宇津野さん

みの～れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
のすすめ  
No.154

今年桜の開花が早く美しい花を愛でることができました。桜が咲き始めた頃に思わぬ雪が降り、また違った景色を見ることができました。百花繚乱の美しい季節は私たちを癒してくれる時季でもありますね。新型コロナウイルスの影響でイベントが中止や延期になり、学校もお休みになって今までの生活が少しずつ変わってしまいました。このトンネルを抜けたら、普段通りの生活が戻ってきますよ。そう願っています。今回はおやこ・マタニティコンサート実行委員と芸術展プロジェクトメンバーで小美玉市羽鳥地区にお住いの宇津野絵美さん取材します。

宇津野さんにおやこ・マタニティコンサート実行委員になられたきっかけを聞いてみました。「芸術展プロジェクトメンバーに知り合いの方が先に入っていて、声をかけてもらいました。たまたま、おやこ・マタニティ実行委員の会議がある日に、私は別の用事でみの～れに来ていたら、おやこ・マタニティ実行委員の知り合いの方から連絡があった、『用事が済んだら来て！』と声がかかり、その日に会議に参加して実行委員のメンバーになりました(笑)。私と同じような年代の人がいるので楽しいです。私が妊婦の時に、マタニティコンサートがあることを知っていたら参加したかったなと思います」と笑顔で話してくれました。

今年、中学1年生になるのでやってくれるかな?と思っっています。下の子は小学2年生の女の子なので、まだまだ付き合ってくれたいと思います」と楽しそうに話してくれました。また、宇津野さんは、「みの～れってこんなにいろいろいるなイベントをやってくれているのを知らなかったのでも驚きました。知ってから友達にも『こんなのやっていけるんだよ!』って言えますよ。そうすると小美玉ってすごいね!って市外の友達から言われるんですよ」と話してくれました。また、「おやこ・マタニティコンサート実行委員会は5月31日に、おやこDEわくわくコンサートを企画しています。出演は、中川賢一さん(ピアノ)・鶴木絵里さん(ソプラノ)。ジブリやディズニーの名曲や手遊びコーナー、みんなで歌おう!パプリカなどを用意して、0才の赤ちゃんからコンサートに気軽に来ていただけてます。このコンサートは、寝転がっても、お菓子を食べてもいいんですよ!まるでお家が

コンサート会場になったみたいですね。楽器に合わせたいびよんしても、大きな声で歌っても、すやすやとゆりかごにゆられてる気分です。赤ちゃんからコンサートに参加してもらいたいという思いから生まれました。素敵なコンサートだと思えます」と笑顔で話してくれました。宇津野さんは、「コンサートが開催できるかわからない。もしできたとしたら、しっかりとコロナ対策をして安心して来ていただけるようにしたいと思います。やりたい気持ち半分、できるかどうか不安な気持ち半分です。できるところまで準備を進めていきたいと思えます」と話してくれました。この取材後、政府の緊急事態宣言を受け、コンサートの中止が決定しました。来年こそは親子の笑顔があふれるコンサートが開催できることを楽しみにしています。

(藤田佐知子)